

【知立市文化協会設立趣意書】

(…略) 私共は次のような観点から知立市文化協会を設立したいとお願いいたしております。

ご承知のように今日迄知立に文化施設がないために文化的活動に参加する機会も少なく、他市に比較いたしまして著しい格差がある残念な状態にあります。

市制の発足により、文化施設の設定は全市民のご期待でもあり、当然市の要件でもあります。現に市民センター、図書館、また郷土の文化保護のため郷土資料館等も総合計画の途上にあります。

私共は市民の皆さんと共にこれらの完成の促進に協力するとともに、更にそれらの場を得て美術・文芸・趣味・芸能・社会文化の各部門の質と水準の向上につとめ、又その目的達成のための企画を必要とするものと考えております。又、文化財の保護にありましても当局や所有者の責任は勿論であります。市民のひとりひとりがその保護の重要性を認識しなければ万全を期することは困難であります。

郷土の文化財がどのような意義をもつものであるかを知り、正しい理解を深めねばなりません。このように文化財を通じて私達の過去に生きた「人と物」とのつながりを知り、又現代における文化の向上発展につとめ、更に私達を通じて未来の子らにもこのような「こころ」を伝える壮大な流れを強く認識する時、全市民を一丸とした文化団体の必要性を痛感するのであります。即ち、知立市文化協会設立の意義であり、且つ趣旨となるわけでございます。十分いつくし得ませんが、どうかご理解頂きまして、よろしくご後援下さいますようご挨拶申し上げます次第でございます。

謹言

昭和四十六年十月

発起人並設立準備委員

池田房雄・加藤恒二・倉重久人・小林美雄・清水薫・園田善己・高木嶋次
高木末一・田島浅弘・永田清三郎・野村泰三・前島平太郎・前島正子
毛受信治 (アイウエオ順)

「総会1」文化協会所蔵